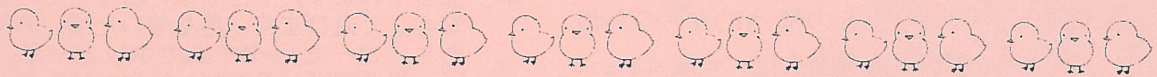


パルde子育て

創刊号 2007年10月



少子高齢化・核家族化がすすんだ現代社会は若い人たちにとって、子育てしやすいとはいいいがたい環境にあります。

親世代やその親の世代の若かった頃は、オムツだって、離乳食だって、便利でなく、子育ては今以上に大変な状況でした。

しかし、今と以前で決定的に違うことは、以前は、一歩外へ出れば、大人たちは、となり近所で、おしゃべりの花を咲かせ、子どもたちは異年齢の集団の中で遊びながら、子ども同士のつながりをつくり育っていくという環境がありました。

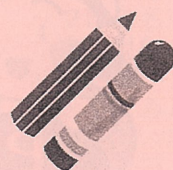
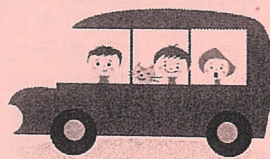
現代社会を見てみると、例えばマンションの隣や上下でどんな人が住んでいるのかわかりづらく、いつ、だれがいるのかも知らない。子どもたちは家の中でのゲーム遊びや、塾や習いごとで忙しく、外遊びをしている子どもたちの声は聞こえてこないという状況ではないでしょうか。また、幼い子どもと接した経験なく親になっていく今の人たちの「私だけ?」「何で?」というとまどいや悩みは、思う以上に深刻です。

そんな中、子育て中の親どうし、ちょっと先輩や大先輩の知恵や経験、励ましを受けながら、いろいろな人とのコミュニケーションの中「へー、そうなんや」「みんな同じ」「がんばろう」の気持ちが広がっていくことを願って子育て研究会で、ニュースを発行することになりました。

このニュースをきっかけに、「ひとりで子育て」から「みんなで子育て」の輪が広がっていくことを願っています。



子育て研究会

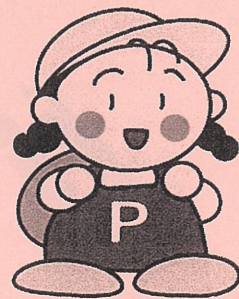


子育て研究会としてニュースを発行するにあたり、山本理事長よりメッセージをいただきました

理事長 山本 邦雄

今日、子どもの育ちや子育て、親子関係をめぐって様々な問題が指摘され、一部においては痛ましい事件となって現れています。このような状況について親の愛情不足というような個別的要因に帰せられる向きもありますが、良く考えてみると決してそうではなく、社会的な変化の中で生じてきた、つまり社会の構造的なものが根底にあるように思います。例えば、地域コミュニティの崩壊などにより、母子が閉鎖的な環境の中で孤立しやすく、社会性やコミュニケーション能力が不足すること、核家族の影響もあり実体験がないまま親になる人が多いこと、ビデオ、ゲーム、テレビなどに手が届きやすく、子どもが育つ上で本来必要な人とのふれあい、集団的な遊びなどの経験が不足していること、そしてなんとと言っても社会全体に見られるつながりの喪失と倫理観の欠落などが挙げられます。生協として子育て支援に取り組むにあたって、このような社会的要因をしっかりと踏まえ、子育て世代がおかれている立場を尊重しながら「子育てしやすい社会」「子育てが楽しい、やりがいがある状況」をつくり出していくことが大切だと思います。今日的には子育ては乳幼児期だけではなく、思春期までを視野に入れて考えるべきものとして重大な社会問題となっています。

生協が相互扶助の理念を生かし、子育て支援に積極的に関った活動は社会的に着目されています。それは生協の新たな社会的役割・責任でもあるからです。



もりぐち

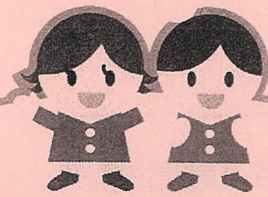


昨年10月にオープンしました。この1年で151組の親子(368人)の参加がありました。「パルタイムをみて来ました」「お友達と一緒に来ました」などの出会いから、次々に仲間が増え、守口市内からはベビーカーや自転車で、門真市からもバスや電車に参加しています。子どもは、お母さんの近くで安心して遊びます。落ち着いた頃、お母さんたちはコーヒータイムでホッと一息。その後、親子遊び、手遊び、絵本の読み聞かせなど皆でします。おかげさまで、スタッフも少しずつ増え、やりたいことが実現できるよう日々とりにくんでいます。いつの日か、皆さんの希望がかなえられたらと、スタッフ一同がんばっています。

じょうとう



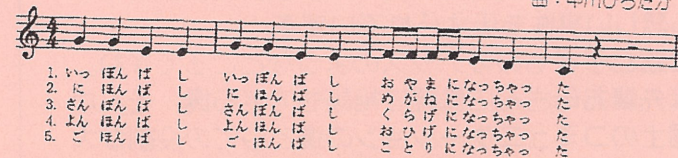
城東組合員会館で広場がはじまって約2年半。月2回月曜日に開催しています。親子の集う場を提供することで、お母さんの情報発信の場になったり、子ども達は0才～4才までの集団を作り、毎回色々な遊びを通して、たくさんの経験を積み上げる場となりました。生後3ヶ月位から参加していた親子は、いつの間にかお兄ちゃんになり遊びをリードしていくようになり、新米ママも先輩ママになりました。スタッフもそんな先輩ママが半数以上です。毎回、参加親子、スタッフ皆で楽しく、満足できる広場を作ってきました。一度、のぞいてみませんか。



パルちゃん広場ぽっかぽか

「ひとりで子育てからみんなで子育て」をテーマに親子がともに「ホッ」とし、リフレッシュでき、子ども達の成長を共に喜び、元気な心で子育てができるようスタッフ全員が心がけ活動しています

いつぼんばし にほんばし 詞：湯浅 とんぼ 曲：中川ひろたか



ママのつぶやき

ママの感想をあつめたよ

「広々とし、のびのび遊べて楽しいです！」
「親子ともリフレッシュできました。」
「手遊び、読み聞かせを楽しみにしています。また参加します！」



「もっと遊びたいよ～」
「月1回じゃなくもっとふやしてほしいな～」
「もう少し時間をのばしてほしいよ！」
「こんな素晴らしい場所、いつまでも続けて下さい」

「おかあさんの交流もあり、勉強になります」
「童謡が流れ、おもちゃもたくさんあり、子どもたちが仲良く遊んでいいですね」
「子どもの新たな一面を発見しました！」

寝屋川はパルちゃん広場発祥の地。2004年2月、モデル広場としてスタートし、ああでもない、こうでもないという試行錯誤をくり返し今のような広場におちつきました。最近の広場は、今年度より昼食を準備するようになって参加人数が定着してきたように思います。おしゃべりをしながらみんなと昼食がとれ、気持ちもリラックスでき、お母さん同士も顔なじみになりお友だちも増えたり、参加者にもとても好評です。絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単に作れる工作遊び等も実施して親子で楽しむ大切さを伝えています。参加者の中には、第2子第3子を出産後2～3ヶ月で広場へ参加してくれる親子もあつたり、また子育て真っ最中の参加者からスタッフになったり、参加者もスタッフも年齢層は、バラエティー！笑顔いっぱい元気いっぱいの広場です。



ねやがわ



2004年11月よりスタートし月1～2回のペースで広場を開催しています。40回をこえました。平均14～15組程度の親子が参加しています。親子そしてお友だち同士の自由遊び、手遊び、読み聞かせ、手作りのパネルシアターやエプロンシアター、コーヒータイムなどを楽しみ、時にはおしゃべり交流会、親子リトミック、あとあふれんど商品の試食会などを企画し変化をつけながらみなさんに楽しんでもらっています。広場スタッフは5名からスタートしましたが年々少しずつ増え現在9名で活動しています。開催時間は午前中だけから午後1時まで延長しながら軽食準備をしてみんなで食事する喜びなども味わってもらっています。参加者に喜んでもらえるパルちゃん広場ぽっかぽかをこれからも開催したいと思っています。皆様のご参加お待ちしております。

あべの

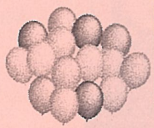


応援します「子育て広場」

元京都大学生協 管理栄養士 友藤弘子

「子どもは社会の宝」という言葉があります。子どもは親だけではなく社会全体で大切に育てなければならないということだと思います。私など団塊の世代の子ども時代は、地域の大人達から叱られたりほめられたり、教えられたり地域の大人の見守りがありました。親から教えられるより近所のおじいさんやおばさん達から教えられたことも多く、そのほうが素直に聞き入れられたものです。残念ながら、現在は子どもを見守る暖かくてうるさい地域社会（地域社会の教育力）がなくなってしまいました。核家族が増え、子どもをかかえ一人ぼっちで悩むお母さんが多いのではないのでしょうか。マスメディアから流れる子育て情報の多さに右往左往し、相談する場がなく不安をもつ親もいます。親と子だけの狭い世界だけは、息が詰まりストレスから悲しい事件も伝えられています。

パルコープの「子育て広場」は、地域の親と子どものオアシスのようなところですね。参加して楽しい、ホッとする、経験豊富な先輩お母さんに気軽に相談もできる場、それが「子育て広場」だと思います。また、親同士のコミュニケーションの場としての役割が大きいと思います。「子育て広場」に参加することで、子どもを持つ親同士が顔見知りになり仲間の輪が広がっていきます。子ども達も、他の子と遊ぶことで刺激を受け他人との関わりを学んでいきます。「子育て広場」は、人と人がつながるところですね。



子育てって いつまでも おもしろい

「親は子の鏡 子は親の鏡」「親の心子知らず 子の心親知らず」「かわいい子には旅をさせろ」「子は親の背中を見て育つ」などは、私の母からよく言って聞かされた「ことわざ」で、今でもなるほどと思うことしばしばです。

また、「して見せて させてみて 言って聞かせて ほめてやらねば 人は育たぬ」
—ともすれば、子どもの育っていないところばかり気になって、悩んだり、叱ったりしてしまいがちですが、それでは子どもは育たないですよ！よいところを見つけ、うまくできたら褒めてあげなくては賢い子には育ちません—と、短い言葉のなかにハッとさせられる子育てのヒントがあります。あなたにはこんないいところがあるよ、これが上手だね、と言われたら嬉しいし、元気が出てきます。自分が認められている、大切に思われている、愛されていると感じられること—大人も一緒ですよ。子どもって好奇心旺盛で、やんちゃで、甘えん坊で、ハラハラドキドキさせられる事が一杯ありますね。そんな日々の中から、元気をもらい、教えられることもたくさんあります。

兄弟でも個性が違います。違っていいからおもしろい。しかし、どこか親に似ているんです！エエッ？…そう言えば！

子どもは、大人にいろんな人生勉強をさせてくれる大切な「人」なのです。

子育て研究会 あかまつのぶこ



編集後記

おかげさまで、ここに創刊号を発行することができました。よりよい誌面づくりを目指していきたく考えています。ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。また、この場を借りて、誌面づくりにご協力下さいました方々に深くお礼申し上げます。

子育て研究会 編集チーム

お問い合わせ先

組合員サポートセンター

TEL 0120-299-244

FAX 0120-299-230

発行

2007年10月

おおさかパルコープ 子育て研究会